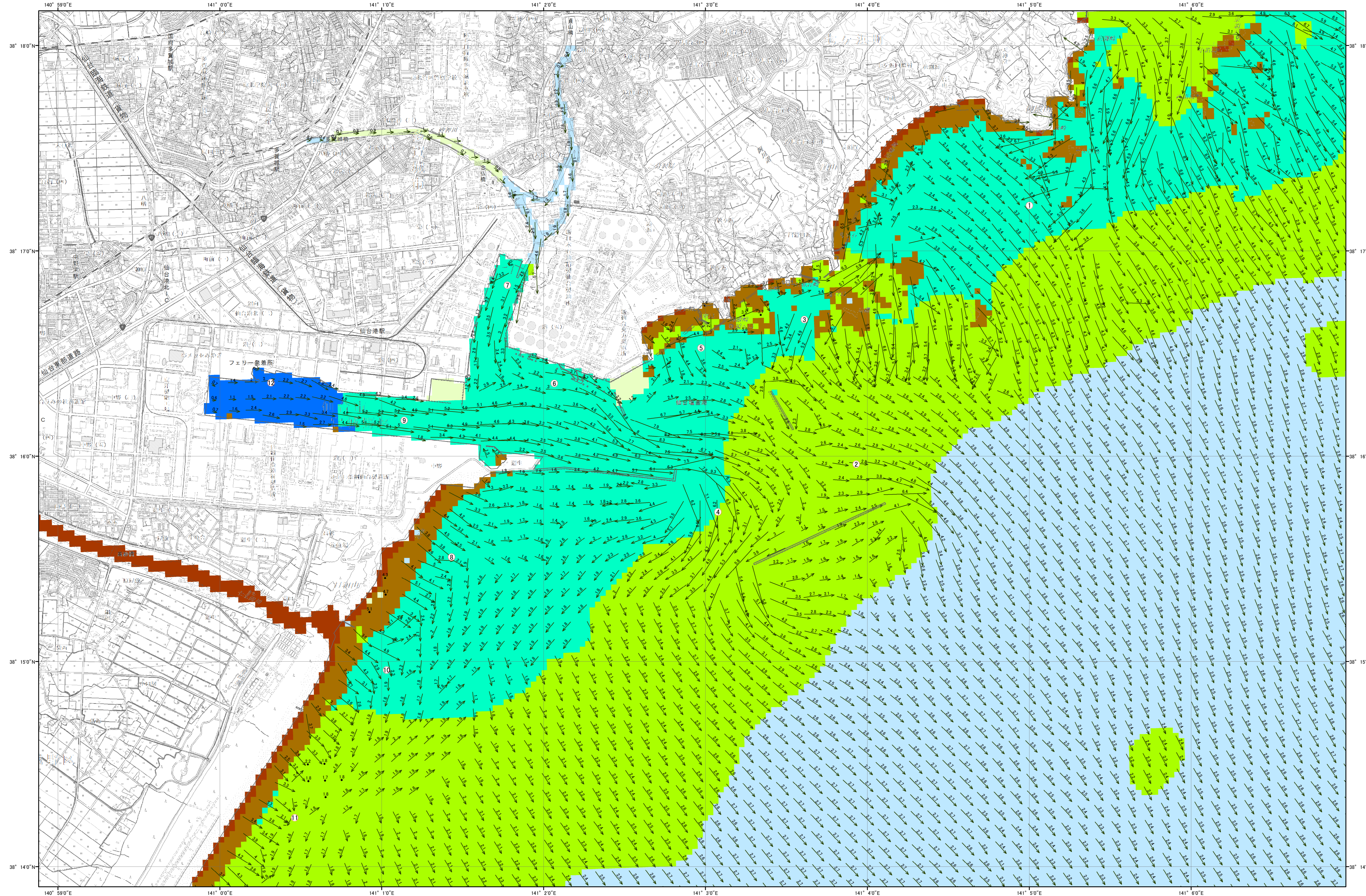


計算条件: 最低水面(零位)
隆起量: 平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
Zo: 0.93m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



座標系: メルカトル図法
測地系: 世界測地系 (WGS84)



凡例

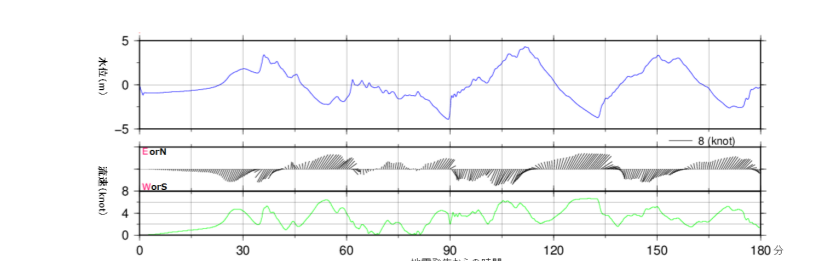
最大水位低下

- 5~最大5.9m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を断面の経時変化図で示す。)

(例) 水位、流向・流速経時変化図



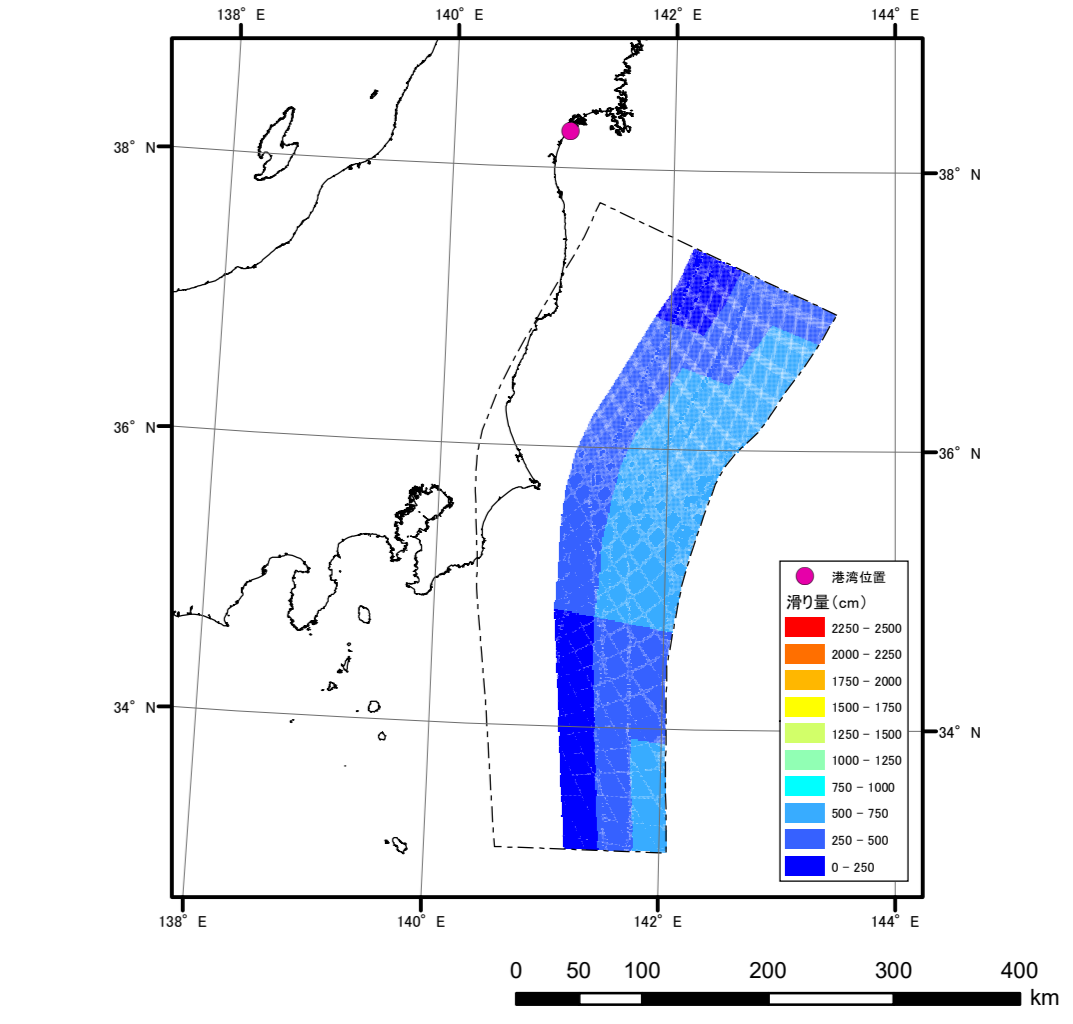
引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情標、第1374号 平成29年3月10日)